

桂坂だより 特別号

令和8年3月19日(木)
京都市立桂坂小学校
校長 中村 佳明

お忙しい中、学校評価のためのアンケートにご協力いただきありがとうございました。このアンケートは、子どもたち一人一人や保護者の皆様、地域の方々の声を本校の教育活動に反映していくことをめざし、そこから見えてきた桂坂小学校の強みや課題を共通認識した上で、連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにするために活用していきます。

学校評価のためのアンケート結果の考察【後期】

今年度も、保護者の皆様には本校の教育活動に温かいご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

先日実施いたしました「本校が目指している資質・能力の発揮状況」に関するアンケートでは、保護者の皆様から貴重なご意見をいただきました。ここに、その主な結果と1年間のお子様の成長についてご報告いたします。

●「?をみつけ、かんがえぬく力(課題発見・探究力)」3.60(5段階中の平均)

身の回りの出来事に「どうしてだろう?」と疑問をもち、自分なりに考えようとする姿が多く見られる一年でした。

授業中に友だちの意見を聞きながら考えを深めたり、自分の言葉で説明しようとする姿が多くなりました。

今後は、疑問からさらに「ためしたい」「もっと知りたい」へつながるよう、引き続き学びを支えてまいります。

●「おりあいをつける力(対話共感力)」3.72(5段階中の平均)

友だちの気持ちに気づき、「どうしたの?」と声をかけたり、場面によって自分の気持ちを上手に調整したりする姿が育ってきています。

トラブルがあっても、担任や友だちと一緒に落ち着いて考え直すことができる子が増え、「人と関わる力」が確かに伸びていると感じます。

●「はなしあってきめる力(対話共感力)」3.75(5段階中の平均)

学級会やグループ活動では、相手の意見をしっかりと聞き、納得いくまで話し合おうとする姿が数多く見られました。

「みんなで決めたい」「よりよい案にしたい」という気持ちをもつ子どもたちが多く、話し合い活動が確かな成長につながっています。

●「のりこえる力(レジリエンス)」3.75(5段階中の平均)

うまくいかないことがあっても、気持ちを切り替えたり、「次はこうしてみよう」と前向きに取り組んだりする姿が見られました。

行事や日々の学習の中で、挑戦と小さな成功体験を積み重ねてきたことが、子どもたちの自信につながっているように感じます。

アンケート結果から、学習意欲については「できている・おおむねできている」と回答した保護者が合わせて86%と、多くのご家庭が前向きな変化を感じておられます。一方で、「自主的に学習に取り組むことができている」という項目では肯定的な回答が82%と、学習意欲に比べてやや低く、主体的な学びへの移行が今後の伸びしろとして見えてきました。

日々の教室では、できたことを嬉しそうに伝えたり、友だちと教え合ったりする学ぶ姿が多く見られました。子どもたち一人ひとりの小さな成長が積み重なり、教室に温かな空気をつくってくれています。保護者の皆様の温かい支えに、心より感謝申し上げます。

意欲的に調理実習している姿



子ども主体の学習



話し合い活動の充実



【現状を踏まえて】

意欲は育ってきているからこそ、次は「自分で学びを進める力」を育てていきたいと考えています。来年度は、子どもたちが目標をもち、計画し、振り返りにつなげる自己調整学習の時間として『チャレンジX(テン)』をさらに充実させます。

また、次期学習指導要領がめざす「好きを育み得意を伸ばす」学びの実現に向けて、一人一人の興味や強みを生かせる活動を大切にしていきます。

めあてづくりや選択的な学習課題などを通して、学習を自分の力で進めていけるよう支援していきます。子どもたちが「できた!」「つぎはこうしたい!」と実感できる時間を大切にしていきます。

充実していた「たてわり活動」

すごいぞ高学年！キッズプラン発表会

5、6年生が
率先してグループ
活動を進めています



温かい気持ちで1年生をむかえる会



高学年が大活躍！委員会ラリー



たてわりで力を合わせての綱引き



集大成のかざらっこパーク



感動と感謝の6年生を送る会

これまでの感謝の
気持ちをこめて
歌やダンスの贈り物

【たてわり活動 1年間のつながり】

今年度は、たてわり遊びや行事を通して、学年をこえた“つながり”が大きく育った一年でした。

月に一度のたてわり遊びでは、少しずつお互いの顔や名前を覚え、自然に助け合う雰囲気生まれました。

6年生が企画し、5年生が支えた「委員会ラリー」や「かざらっこパーク」では、高学年の高学年らしいリーダー性が光り、下級生を思いやる姿が多く見られました。

「キラりんく音楽祭」や運動会では、全校児童が心をひとつにし、応援し合う温かい空気が学校全体に広がりました。

そして、6年生を送る会では、各学年が歌や劇で感謝の気持ちを伝え、1年間のつながりの集大成となる時間になりました。

【学校運営協議会 理事会】

今年度の学校運営協議会では、来年度の新しい取組や校時表の変更に期待する声が寄せられました。下校時刻が早まることで放課後の時間が長くなり、異年齢間で関わる機会が増えることから、「学校と地域がより連携できるのではないか」という意見が出されました。

また、児童数の減少については「悲観するのではなく、これをチャンスととらえ、新しい教育の在り方を地域と共に考えていきたい」という前向きな声がありました。

さらに、学校評価アンケートで心理的安全性が高い結果となったことについて、「いい学校になってきている証拠」と評価され、子どもたちが安心して学べる環境づくりが進んでいることが共有されました。

【ご意見を受けて】

たてわり活動のさらなる充実を図り、学年を越えて支え合える関係づくりを進めることで、これまで以上に心理的安全性の高い学校をめざしていきます。また、校時表の変更に伴い、子どもたちが集中して学べる環境づくりや、学びへの意欲を引き出すすしかけにも取り組んでいきます。あわせて、地域との協働を大切にしながら、学校と地域がともに子どもを育てていく流れを着実に広げていきたいと考えています。

